



IBA大会における 新型コロナ感染予防対策

検温、健康チェックの取り組み

- 大会参加チームは大会当日朝に参加者全員(選手、役員、父兄等全員)の検温、体調チェックをし、健康チェックシートに記入し大会本部に提出する。
 - ・体温が37.5度以上、体調不良の人は会場に入れない
- 大会本部は会場に入場する全員の検温と手指のアルコール消毒を実施する。
 - ・検温担当はマスク、フェイスシールド、手袋を必ず着用する。
 - ・アルコール消毒は自分で行わず、担当の者が適量を行う。
 - ・来場者全員のマスクを確認する。
- 並ぶ際は人と人の間隔は1m以上離れる。

マスク着用について

- 監督、コーチ、スタッフ、保護者
 - ・全員マスク着用を義務付ける。
- 選手
 - ・待機中はマスク着用を義務付ける。
- 役員
 - ・マスク着用を義務付ける。
 - ・受付、検温担当はフェイスシールドを着用。

試合中の取り組み①

○監督、コーチ、スタッフ、保護者

- ・マスク着用を義務付ける。

○選手

- ・プレー中の選手のマスク着用は義務付けないが、控え選手はマスクの着用を推奨する。

試合中の取り組み②

○ダックアウト

- 選手間は指導者の指導の元、ベンチ内では一定間隔を保つよう努力すること。

※各チームで椅子等は用意する。

- 選手の荷物は指導者が各自で管理するように指導する。

○次チームとのベンチの入れ替え

- 前の試合のチームが完全にベンチを空けてから、次チームはベンチに荷物を入れる。

○保護者応援場所

- ダックアウトと最低2m離れた位置で、人と人の距離を最低1m空けるように心掛ける。

試合中の取り組み③

○円陣、ハイタッチ等

- ・円陣の声出し等は禁止する。
- ・ハイタッチ、グータッチ等の肌を触れ合う行為を禁止する。

○試合中の応援

- ・ベンチ内での応援歌は禁止する。
- ベンチ内、応援席での応援は拍手を推奨する。

○守備タイム

- ・守備タイムの際に、監督、コーチがマウンドでハドルを組む場合、指導者は必ずマスクを着用する。
- フィールドに守っている選手は口元をグローブ等で隠す。

試合中の取り組み④

- 試合前後挨拶
 - ・選手、監督、コーチ、スタッフはベンチ前に整列し挨拶を行う。
 - ・監督、主将、審判員のみがホーム付近に並び試合を開始する。
- 4回終了時点に給水タイムを設ける
 - ・給水タイム中はフィールドには入らない。
 - ・ハーフィニングは20分を超えた場合も給水タイムを設ける。

審判団の取り組み

○審判用飲料水

- ・クーラーボックスに入っている飲料水を各面の担当審判員が持っていく。
- ・試合中の飲料水は両ベンチ脇に用意し、各自で飲むようにする。

○マスク

- ・審判員のマスク着用は義務付ける。

IBA役員への取り組み

○抗原検査

- ・IBA大会役員は必須

事前に郵送し各自で検査、結果の写真を送付

- ・参加チームは必要としない

○マスク着用

- ・大会役員は必須

○フェイスシールド

- ・受付、検温の際は必ず着用

検温の取り組み

- 入場者全員、検温とアルコール消毒の実施
 - ・検温担当はマスク、フェイスシールド、手袋を必ず着用する。
 - ・アルコール消毒は自分で行わず、担当の者が適量を行う。
 - ・来場者全員のマスクを確認する。
 - ※マスク未着用の場合はその場で購入してもらう。
- 並ぶ際は人と人の間隔は1m離れる。